

放課後等デイサービス 事業所における自己評価の結果（公表） （令和3年 8月）

事業所名 ソーシャルセンター夢んぼ

	チェック項目	チェック項目の実施について	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	適切である	活動内容や人数によって部屋を変えています。	グループ分けを行い、ご利用様が過ごしやすい環境を整えています。
	② 職員の配置数は適切であるか	適切である	活動内容を考慮し配置しています。	利用状況に合わせて勤務表を作成しています。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	適切である	現在必要な利用者の方はいません。	駐車場から玄関へのスロープ、階段に手すりを設置しています。
業務改善	④ 業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	行っている	職員ミーティングを行い利用者様の状況によって支援内容を相談、変更をしています。	ミーティング以外でも、普段の会話からPDCAサイクルができるように意識しています。
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	つなげている	アンケートの内容は開示し、情報共有しています。	保護者様からの声に、改善すべきものは迅速に対応していきます。
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	ホームページで公開している	会報やメーリングを利用し、ホームページに掲載の案内をしています。	
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	第三者による外部評価は実施していない	法人内の事業所間ミーティングや、リーダーミーティングにおいて評価し改善に努めています。	事業所個人の判断ではなく、夢んぼ全体で判断する内容や、客観的にみる視点は必要と考えています。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	確保している	研修参加のために勤務調整しています。	職員研修の内容は全職員で回覧し、情報を共有し、スキルアップしていきます。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	作成している	職員間で情報を確認、支援計画の会議を実施しています。	保護者との面談や本人をみてアセスメントを行い、個別支援計画を作成しています。
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	使用している	アセスメントを行い、個別支援計画に反映しています。	共通のアセスメントの様式を使用しています。
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	行っている	プログラムミーティングを行い、どのスタッフも意見が出せるようにしています。	プログラムミーティング以外でも、普段の会話から新しいアイデアなどは共有できるようにしています。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	工夫している	毎月子どもたちの状況を見て変更しています。	子ども達への聞き取りや、利用状況を見ながら、人気のあるものは継続、逆に利用が減少しているものに関して把握し改善しています。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	支援している	平日は基礎、長期休みは応用ができるように目的をもって実施しています。	休日や長期休暇の長い時間を使って取り組める内容をプログラムに取り入れるようにしています。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	作成している	個別、集団、地域を意識してプログラムを作成しています。	個人のスキルを高める内容、集団を意識する内容、将来に目を向ける視点は常に持つようにしています。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	確認している	毎日打ち合わせをしています。	利用人数、内容、注意する点など細かな部分の確認をしています。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	共有している	支援記録をとり、情報共有、毎日の打ち合わせで特記事項を伝えています。	気づいた点は、支援記録に残し、次の日に対応する内容に関しては、その場で話して支援内容を決めています。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	つなげている	その日の情報を伝え、次の日には改善できるようにしています。	支援記録をとり、同じ内容の活動は、前回の記録からの課題を見直し実践しています。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	判断している	半年ごとにモニタリング、支援会議を行い、支援内容の見直しをしています。	支援会議では、職員一人一人の意見取り入れたモニタリングを行い、個別支援計画の内容に関しても会議を行っています。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	行っている	ガイドラインを活用し、職員間で改善点を共有し実行しています。	ガイドラインの内容を、職員が確認し意識して取り組むようにしています。

	チェック項目	チェック項目の実施について	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	参加している	学校への働きかけ、相談員に相談、保護者との面談を踏まえ、サービス担当者会議にて子どもの情報を共有し支援の協力体制を作っています。	サービス管理責任者が参加しているが、今後は直接携わる職員の同行もできる機会があれば参加していきたいです。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	行っている	学校から頂けるか、保護者の方から教えていただき、送迎や活動を調整している。トラブルがあれば、すぐに対応できるようにしています。	希望時に確認し、変更があれば、すぐに修正、送迎に遅れないように取り組んでいます。
	㉒ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	努めている	フェイスシートなどで、成育歴や病院、主治医を確認しています。サポートブックなどの情報、検査などの評価についても家族に確認しています。	保護者や相談員からの情報を整理し、今後の支援の方向性を決めています。
	㉓ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	提供している	個別支援計画、モニタリング、アセスメントの情報を提供しています。	今までで取り組んできた内容を整理し、今後課題になっていく事も伝えられるようにしています。
	㉔ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	研修を受けている	研修に参加しているよう調整等行っています。	研修はあるが、直接かかわる事は現在はないので、機会があれば、連携をしながら本人の支援に活用していきます。
	㉕ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	現在はない	児童クラブはないが、公共の施設を利用し社会性を育てています。	コロナウイルスの状況を見ながら交流も実施していきます。
	㉖ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	参加している	地域の状況を把握、事業所の取り組みについても伝えていきます。	出席ができない状況もあるので改善していきます。
	㉗ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	共有している	毎日の活動の様子をお伝えする連絡ノートや、定期的な面談、送迎時に保護者の方と話をしている。	定期的に保護者との面談を行い、直接お話しさせていただく事や電話での相談にも対応しています。
㉘ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	トレーニングはしていない	必要な助言や、本人の目標に合わせて、必要な力を説明したうえで、保護者と本人の関係について助言を行っています。	トレーニングとしては行っていないが、子どもたちの今の状況と将来的な課題をお話しさせていただきながら保護者と協力し支援していきます。	
保護者への説明責	㉙ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	説明している	契約時や、更新、質問等に対して説明をしています。	分からない事があれば、連絡を頂けるようにしています。
	㉚ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	行っている	面談以外にも電話での相談、送迎の際など保護者の方と話す時間を作っています。	その場で改善できない事もあるので、時間をかけて保護者との関係づくりもしていきます。
	㉛ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	父母会の開催していない	現在は父母会などないため、進路相談や作品展、写真展など保護者が参加できるイベントを企画しています。	コロナウイルスの感染状況を見ながらイベントの実施も考えていきます。
	㉜ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	対応している	迅速に対応しています。	
	㉝ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	発信している	ブログやインスタグラム、毎月発行の会報等で情報発信しています。今年度はチラシを一新しました。	今後も、ブログやインスタの更新を積極的に取り組みます。
	㉞ 個人情報の取り扱いに十分注意している	注意している	個人情報など重要書類は鍵付き書庫で保管している。書類以外のレジュメなど使用後はシュレダーで処分しています。	個人情報の取り扱い規定を確認し、職員全員で周知していきます。
	㉟ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	配慮している	口頭でのやり取りだけでなく、書面での説明や質問があれば説明をしています。	職員で情報を共有し、対応しているようにしています。必要に応じて、担当窓口を一つにして対応しています。
	㊱ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	コロナ過でのイベントの実施は出来ていない	コロナウイルスのため現在は実施できていませんが、夢んぼ全体で実施する写真展・作品展の開催や地域イベントへの参加をしています。	コロナウイルス感染状況を見ながら、イベントを企画していきます。

	チェック項目	チェック項目の実施について	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
非常時の対応	③⑦	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	実施している	ミーティングにて、マニュアルの読み合わせを実施しています。	必要なマニュアルは、すぐ手に取れ、確認が出来るように保管しています。
	③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	行っている	定期的に、地震や火災を想定した避難訓練を実施しています。	避難訓練を行い、課題が上がったものは、迅速に改善していきます。
	③⑨	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	行っている	アレルギーの表を作り、必要に応じて対応しています。	アレルギー表は、いつも目に入る場所、全職員が把握できるようにしています。
	④⑩	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	共有している	ミーティングで議題にあげ、改善点を確認し迅速に対応しています。	小さなことでもヒヤリハットにより、次に起きないようにすること、早い段階で危険をなくすために活用していきます。
非常時の対応	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	対応している	虐待防止研修への参加、虐待防止チェックリストを毎月実施しています。	虐待に関しては、小さなことでも気になる点があれば、管理者に報告し、確認改善出来る環境を作っています。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	記載している	保護者との面談で、身体拘束の場合の記載内容を確認し同意とサインを頂いています。身体拘束を行う場合は、状況の記録を残すようにしています。	全職員が、内容を理解し対応しています。
その他	④③				

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。